

新人議員が過ごした地方議会

議員になって約1年が経ちました。今期初当選の議員5人が1年間を振り返って語り合った内容の一部を紹介いたします。ぜひご覧ください。

議員になる前と現在で、議員活動のイメージはどのように変わりましたか？

深瀬 議員活動のイメージって、議会の定例会に出て議決するという印象が強かったのですが、その日程さえ押さえれば議会の仕事はできるのかと勘違いしていました。

また、議員として人に会ってお話して、「町がこう変わったらしい」と言う活動をするのかと思っていたら、委員会の資料調整の前段から何回も集まって検討する作業があり、事務仕事に追われて忙しかったというイメージが強かったです。

工藤 議員活動は、定例会と臨時会、その前後の勉強会だけと考えていましたが、かたるへサロンなどの議会の広聴活動や、役場公式行事の他に、花月区の行事もあり、想像以上の稼働日数で驚きました。

花月区は、もともと100年くらい前に分村という動きがあったせいとか、議員、区長と地域の方との結びつきっていつのが非常に強い傾向があるんですよね。

ですから地元の恒例行事やすまいるあつぎなごにもなるべく出席させていただいています。



工藤議員

議会の活動、体制づくりにチカラが入っていました。今年は議員としての仕事にもチカラを入れていきたいと思っています。取り組むほど、視界がクリアになって、向き合わなければならない問題が見えてきたと思います。議員の皆さんももっと相談する時間を作れたらと思います。議会としての取り組み方や議会のルールの見直しについても議員の皆さんで考えたいところです。

三師 年に4回の定例会に向けてその都度、委員会の勉強会を開催し、各課から頂いた資料の読み返しや疑問点の絞りだしを行うようになりました。中でも、予算・決算審査特別委員会向け、予算書・決算書を頂いたときには、時間が全然足りないと感じるほど勉強することが多く必死でした。予算審査については、勉強の仕方が少しわかってきたので、そこに掛ける時間は増えたと感じました。また、若い世代の人が、「誰に相談したらいいのかわからないからどうあそびますか」と声を掛けてくれることがあって、「議員をやつてよかったな、この人たちのために役立つ動きが出来るようになったかな」と思っています。

加藤 質問の回答についてまとめると、議員活動に費やす時間は、やり方が分かって効率を上げることで短縮できた部分はありますが、それ以上に取り組むべきものが見えてきて、費やす時間が増えている、というところかなと思います。

大畠 今までわかっていなかったつものことが、携わるうちにまだまだ勉強不足だったと気がかされました。今後町民の皆さまと会話を通じてもっとより良い町になっていくように行政とも協力して「対話」していきたいです。

また、私は議員になる前から多くのイベントや会議等に参加させてもらっていたので、今のところそこまでギャップは感じていません。ですが、年度当初に配付された年間予定表以外にも、あとから急に1〜2時間の会合が入ってくることも多いと感じます。それでもこうして議会の仕事ができるのは家族や職場の方の協力があったからこそなので、感謝しています。

加藤 2月3月はほぼ週4日くらいで会議があったりしましたね。

三師 正直なところ議員になる前は、議員がどんな活動をしているのか全然知りませんでした。いち町民として自営業と子育てに追われ余裕もなく定例会も見に行つたことがなければ、議会だよりも気になるころしか見えない状態でした。

そんな中で自分が議員になってみて、こんな



深瀬議員

さらに議会や議員活動を充実、強化していくには何が必要だと思いますか？

加藤 新人議員の研修機会、学びの場を充実させる必要があると思います。最初の勉強会の内容には、物足りなさや違和感を抱きました。議会や委員会の権限や運営についての学習が不足していると感じます。必要だと思うのは次の3点です。

- ①議会が有する権限や機能について議員全員で改めて学ぶ。
- ②本来あるべき議会の姿の実現に向けて、「議会の常識」や「暗黙の了解」といったルール、先例の見直し、必要に応じた改善を行う。
- ③議会権限を正しく行使する。

「我々議員がどのような議会を作っていきたいのか」という目標を明確にする必要があると思うんですよね。

深瀬 議会の事をよくわかっていない状態の人が選挙に出ることを良くするのであれば、入り口となる研修はもっと柔らかいものの方がいいかもしれないし、それとも、もっと議会について知ってる人へ選挙に出てもらおうという方がいいのか、など来期の選挙に向けて現職の議員で考えていくべきことはたくさんあるなと思います。

私個人の議員活動で言いますと、まずは時間の確保が必要です。「町の事を知る」「議案と向き合う」両方の時間を確保し、しっかりと向き合えて初めて議員としての職責が果たせるようになると思っています。議会活動については、現在、議会活動基本計画に沿って活動を行っています。日々忙しく感じますが、この計画に基づいた活動を急らすに進めていけば、強化されていくと思います。

工藤 幅広く情報を得るために、新聞や雑誌等で学習することや、町民の皆さまからの生の情報収集が必要であると考えます。町行



三師議員

なに忙しいのか！と思うほど会議や視察、勉強会、広聴活動がありました。地域の行事に来賓として呼んで頂ける機会も多く、活動の一つ一つが貴重な学びの時間でした。

ただ、「明後日のこの時間に会議をやります」といつの間にもあり、子どもの休みにどこかに行く予定もなかなか立てられず、スケジュール管理が一番難しかったです。

加藤 私は議会事務局の立場から見えていた部分もあったのでそれなりに覚悟していましたが、議会だよりの作成やその他の取り組みなど、実際にやってみるとずっと大変だったなと思いました。また、議員の活動については、呼んで頂ける行事が予想以上にたくさんあって非常に驚きましたし、業務スケジュールを自分で調整することがいかに大変なのかを思い知らされました。

議員活動に費やす時間について、経験によって変化はありましたか？

工藤 約20年間、パソコン操作をする仕事を



加藤議員

政の情報も幅広く仕入れておく必要があると思います。

三師 一度の委員会で受け渡される情報量が膨大なので、その前後の政策協議の時間がとても重要なんだなと感じました。町を良くする町づくりに関わるなかで、これを継続的に話し合っていくことが大事だと思っています。

また、議会モニターワークショップの長内講師が仰っていたように、議員の人となりを知ってもらうことも大事だと思っています。一住民の視点で見たときに、どんな人かわからない人に相談しようかなという気持ちにはならないと思うんです。

なので、広聴活動の中で、その議員がどういう人で、どういった仕事をしているのかを知ってもらうことで、議会にも興味を持ってもらうことで、それが、行政に興味を持つきっかけになり、「自分の住んでる町はどういうまちなのか」ということで、住民が参画しやすい環境になってい



しておらず、最近はやっと少し慣れてきました。また、イベント参加のノウハウも理解できるようになりました。

深瀬 最初は右も左も分からず何をしようか分からなかったのですが、あまり時間を要しませんでした。今はいくら時間があっても足りないと感じています。災害、事故、少子化新しい政策、様々なことを学び、他のどこでもない、「新十津川町」にとつての1番は何なのか。最適解を見つけることは一朝一夕では難しいと思います。特に私は道外から移住しているの、学ぶことが多いと感じています。

大畠 資料を作るなど、パソコンに向かう時間はかなり増えました。

あと、今までお会いするごとのなかった方々と会う時間が増え、さまざまなお話を聞く時間が増えました。お話ができ、その中で何だった内容を議員の皆さんと共有して、議会を通じて、もっと反映できるようなこれからも活動していきたいと考えております。そのためにも、町民の皆さまと話す時間ももっと増やしていかなければならないと感じています。



大畠議員

加藤 私は今年度は議員としての活動よりも、

くのでは。その流れを作っていくのが大事ななと思いました。

大畠 議会や町づくりに対して思うことがある住民の方は、本当はまだまだかなりいると思います。しかし、タイミングが合わないとかで声を上げられていないのだと思うので、幅広く意見を吸い上げられてほしいなと思っています。

住民の声を聴いていないばかりに、住民の思いとかけ離れてしまつては困るので、これまで以上に幅広い年代、立場の方から、一つでも多くの意見を聞くためにどうしたらいいかを模索していくことが、今後のテーマだと考えています。また、自身の発信作業も上手くできていなかったのですが、こちらも充実出来るよう努力していきたいと考えています。

加藤 聞こえる声が多数派とは限らないので、注意しなければならぬと思います。

あと、声を上げると周りから白い目で見られる、という話もあるみたいなので、気を使わずにいろいろ声を届けていただけると環境が一番だと思つてんですけども、そんなすべは変えられないと思うので、あまり周りの目を気にせずに意見できるような仕組みを、まず作っていきなさいなと思います。こちらでも非常に大切なことだなと思います。

5人の議員の話は多方面に及び、あつたつた間に過ぎた2時間でした。

今後新しい議員が生まれていくかどうかは、今期の議会であつた環境を整えることができるかにかかっているとあります。住民の皆さまがどんな議会を求めるといってもポイントになると思います。新十津川町にとって望ましい議会の在り方について、住民の皆さまと一緒に検討していきますので、どうぞよろしくお願いたします。